

研修内容：本コースは、日本の製油所で実施されてきた装置建設プロジェクトについて、プロジェクトオーナーの立場から、その企画から設計、建設、テストラン、引渡し、商用運転までのプロジェクトライフサイクルを通して、プロジェクトの進め方・プロジェクト各段階での考慮点や工程管理、コスト管理、リスク管理などの発注側として必要な知識についての講義・演習を行なうものです。これまでは、機械技術者に限定していたが、最近の傾向として石油化学とのインテグレーションプロジェクトの増加に対応し化学系の技術者も対象に加えました。

講義内容は、日本の製油所におけるプロジェクト管理、装置建設時の IT 活用によるプロジェクト・エンジニアリング、プロジェクトコスト管理、プロジェクトリスク管理とプロジェクト契約で、ケーススタディとしてプロジェクト運営における問題とその解決について討議を実施しました。また、各企業を訪問し、建設時のプロジェクト管理と運転時の HSE リスク評価、製油所のプロジェクト組織、プロジェクト実例紹介並びにタンク開放検査、TPM 活動最新の非破壊検査技術、ガスタービン、タービンの製作と最新技術、圧力容器の製作と最新技術、について研修しました。

実地研修先：日揮・本社、出光興産・北海道製油所、北海道石油共同備蓄・北海道事業所、日本製鋼所・室蘭製作所、非破壊検査・本社、三菱重工業・高砂製作所

参加国：コロンビア、イラク、インドネシア、クウェート、カタール、ナイジェリア、スーダン、タイ、UAE、ウズベキスタン、ベトナム

11ヶ国 合計 17 名

